Creative Enzymes®

ネイティブマウスクレアチンキナーゼMM

Cat. No. NATE-1887

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	クレアチンキナーゼ、筋肉はCKMとしても知られ、人間ではCKM遺伝子によってコードされています。右の図には、筋肉型M-CKモノマーの結晶構造が示されています。生体内では、2つのモノマーが□称的に配置されて活性MM-CK酵素を形成します。心臓では、MM-CKホモダイマーに加えて、1つの筋肉型（M-CK）と1つの脳型（B-CK）サブユニットからなるヘテロダイマーMB-CKも発現しています。後者は、損傷した心筋細胞から血液中に放出され、臨床化学によって□出される場合、心筋梗塞の重要な血清マーカーとなる可能性があります。
別名	CKM; クレアチンキナーゼ、筋肉; CKMM; クレアチンキナーゼM型; クレアチンキナーゼ-M; クレアチンキナーゼM鎖; CK-MM

製品情報

種	マウス
由来	マウス骨格筋
形態	液体、50% グリセロール、50 mM トリス塩酸、2.5 mM β-メルカプトエタノール、0.05% NaN3
分子量	43 kDa
純度	> 90% (SDS-PAGE)
濃度	> 1.0 mg/mL (A280)
最適pH	通常 7.0

保管・発送情報

保存方法	-20° Cで保管してください